

## 映像補完資料

### 「元気だぜ！土佐清水」

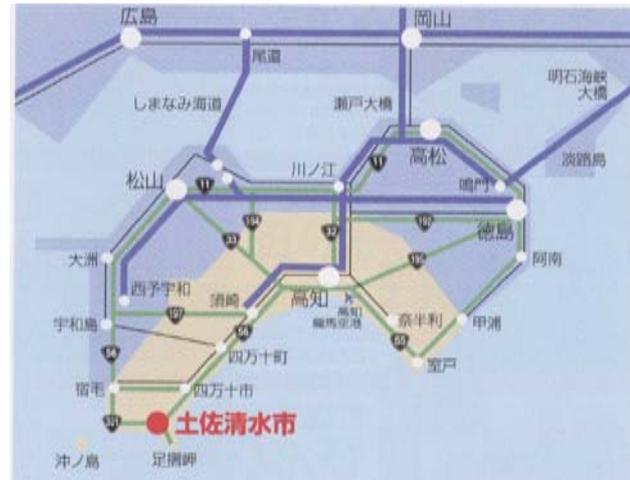
＝地域ブランドの確立による雇用の実現＝

#### 「地域の概要」

土佐清水市は四国の西南端に位置し、県庁所在地の高知市から西南へ約150Km、車で約3時間の距離にあり、また、高知龍馬空港からは4時間近くかかることから東京から最も時間距離の遠い市の一つとされています。

土佐清水市の人口推移は、ピーク時の昭和33年には約33,000人であった人口が、平成17年には17,281人にまで減少しています。この要因としては、高度経済成長期における社会経済情勢の変化に伴う労働人口の都市圏への流失や、道路網や生活産業基盤整備の立ち後れ、地理的条件などによる企業立地の困難さもあり、若者の就労の場が少なく若年層の流出に歯止めがかからない状況にあります。

市内における就業人口を見てみると、平成12年8,000人から平成17年7,402人と減少し、特に、一次産業の農林業・漁業の就業人口の減少が著しく、また、商業の減退も著しく、平成19年における小売店舗数は298店舗となっており、ここ10年間で133店舗の減少、従業員数では297人の減少となり、地域内の求職者にとっては非常に厳しい雇用情勢が続いています。



#### 「事業の取り組み」

このような状況から、本市の雇用創出には新たな企業誘致や産業創造は厳しく、基幹産業である農林業・漁業・観光業が、市の雇用を支える産業であるとの認識を持ち、元気な地域産業の再生・活性化を目標に掲げ、今回のパッケージ事業の採択を期に、基幹産業を担う人材育成に取り組んだところ、事業者においては経営革新が図られ、また求職者においては各分野における就業に向けての意識改革と能力向上が図られるなど、計画目標値を大きく上回る新規就業が実現しました。併せて、この期間中に加工場を拡大した水産物加工会社と、

## 資料②

新たに設立した株式会社土佐清水元気プロジェクトにおいても、パッケージ事業で研修及び技能習得できた求職者が雇用されるなど大きな成果を見ました。特に、地域雇用創造実現事業については、これまでの基幹産業である農林漁業・観光業が、市の雇用を支える産業であることを、いま一度、強く認識し、官民協同のもと地域が一体となった事業実施をめざしたところです。

地域の経済活動が低迷し、活力を失いつつある現状において、民間の発意を公とのパートナーシップで地域の経済活性化に寄与するプロジェクトを発掘・構築し、関係支援施策を緊急かつ総合的に実施することにより、地域経済の下支えを図ることを目的として地域活性化策に取り組んできました。

特に、農林漁業・観光業との連携のもと、地元の農林水産物を使用した特産加工品の開発や生産を担う組織として、土佐清水市における経済団体が出資して第三セクター方式で「株式会社土佐清水元気プロジェクト」を設立し、この農産物加工施設の管理運営、さらに総合商社的な機能を有する会社として、土佐清水市をあげた販売組織網の確立と市場の拡大に努め、雇用の確保・地域の振興と活性化を図ってきました。

今回、このような取り組みが出来た背景には、前段でも再三述べている「パッケージ事業」・「実現事業」の採択を受け事業展開を図ることが出来たことは地域にとって大きな起爆剤となり、人材育成・雇用拡大に大きく寄与し、官民の意識変化も生まれ、地域の雇用創出に取り組む気運も高まったことがあります。

これからも本事業の趣旨を活かして「小さくてもきらりと光る地域の宝」を探求し、地域振興を図りながら、本事業実施の先駆けとなるよう地域の活性化に努めて参ります。

### 「事業終了後の取り組み」

今後の事業展開を図るうえで、パッケージ事業をとおして、商品開発における中核的人材の育成・誘致、特産品加工の専門的技術を身につけた人材、エコツアーガイドなどの体験型観光指導員等の積極的な人材活用と新たな観光商品を開発することにより、波及的に地域の雇用機会を増大させる効果が生まれ、さらに生産の安定化や特産品の地域ブランド化、戦略的な販売を推進する体制が芽生えております。

地域雇用創造実現事業の終了後は、地域振興（地方再生）と雇用創出に向けた課題を総括したうえで、これまでの取り組みを活かし、地域の既存産業のパワーアップを図るとともに、事業により開発した成果品（新商品・デザイン・観光商品等）については、第三セクターの土佐食（株）、（株）土佐清水元気プ

## 資料②

プロジェクト、(社)土佐清水市観光協会を核として、広く市内の事業所に普及させるとともに、地域資源活用の新事業展開により、直接・間接はもとより関連事業との連携によって、間接雇用など地域における雇用創出を推進します。

また、パッケージ事業終了後は、特に一次産業における新たな起業者及び直接雇用を推進するとともに、地域の既存産業の安定化に努め、直接的・間接的雇用創出を推進してまいります。

さらに、高齢化の進む本市において、今後は介護福祉分野も重点課題となっていくことから、土佐清水市高齢者福祉計画及び土佐清水市介護保険事業計画に合わせた人材育成も継続しながら、地域が求めるサービスと既存産業をマッチングさせた新たな起業をめざし、土佐清水市の地域産業の再生と、地域の繋がりを活かし得る雇用創出に引き続き取り組んでまいります。